

<p>ふりがな 氏名</p>	<p>にしやま まいみ 西山 まい美 (工芸)</p>
<p>功績概要</p>	<p>平成 2年 兵庫県工芸美術作家協会展 初入選 平成 11年 兵庫県立但馬長寿の里『遊戯出会いのあーと展 1999』(～平成 17年) 平成 16年 あさご芸術の森美術館『あーとで遊ぼう』講師(以降継続) 平成 17年 西山まい美『いつかみた夢』展(ホテルシーショア御津岬) 平成 18年 国展(国画会)初入選 平成 20年 兵庫県工芸美術作家協会 兵庫工芸展 兵庫県知事賞 平成 21年 第1回播磨工芸ビエンナーレグランプリ(姫路市書写の里・美術工芸館) 地元芸術家紹介カレンダー(北星社)2010年版選出 令和 2年 個展『染めたり、織ったり、遊んだり～』(あさご芸術の森美術館)</p> <p>現在 兵庫県工芸美術作家協会会員、播磨工芸会会員、姫路美術作家協会会員</p> <p>母の影響で裁縫に熱中し、九州産業大学芸術学部デザイン科在学中に染織を始める。卒業後、姫路市へ帰郷し制作活動を開始。以降、県立高校の美術講師を6年務め、美大を目指す学生の指導に18年携わる傍ら、意欲的に制作活動を続け、姫路市美術展、兵庫県展、兵庫県工芸美術展、国展等において入選を重ねた。</p> <p>「染めたり、織ったり、遊んだり」を合言葉とした染織作品は、空間造形においては絵画デザインの素地に由来する構成力や色彩感覚により、軽やかなリズムと立体的な存在感を持つ。また服飾等の日用の作品は、長く使用に耐え、気持ちよく使えるように制作され、用の美のコンセプトにも通じている。</p> <p>あさご芸術の森美術館、播磨工芸美術展、アトリエ等における工芸教室やワークショップを開催し、幅広い世代を対象に織りに触れる機会を作り、工芸文化の普及継承に寄与している。</p> <p>長年にわたり播磨地域の工芸の裾野拡大に貢献すると共に、技法、素材、手順の組み合わせにより多彩な表情を見せる染織の可能性の探求を継続し、今後ますますの活躍と発展が期待される。</p>